

平成 30 年度 創形美術学校

学校関係者評価報告書

学校法人 高澤学園

創形美術学校

学校関係者評価委員会

学校関係者評価報告書

創形美術学校の平成30年度自己点検・自己評価の結果報告に基づいて学校関係者評価を行いましたので、下記の通り報告いたします。

1. 開催日時 令和元年 5月31日(金)16:00~17:00

2. 開催場所 創形美術学校学校 2階 応接室

3. 学校関係者評価委員

飯田淳 (デザイン事務所 代表取締役)

山口菊子 (豊島区区議会議員)

三友喜久夫 (学校法人前理事長)

【内部委員】

高澤学園 理事 創形美術学校 学校長 山本哲次

高澤学園 理事 創形美術学校 主任 工藤礼二郎

創形美術学校 事務長補佐 田村和稔

4. 議事経緯

学校関係者評価の実施にあたって、内部委員より平成30年度自己点検・自己評価の評価結果について学校関係者評価委員へ説明・報告を行い、自己点検評価の各項目に対する評価と改善に向けたご意見とご助言をいただきました。評価結果は、今後の本校における教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表いたします。

5. 評価結果

平成30年度は前年度に引き続き学内設備・機器の改修、強化を図り、その成果として教育環境の向上が図られ、また宣伝広報強化による成果が目に見える形で現れ、財務関係が大幅に改善された。教育指針の明文化と特別サポート制度、経済的に就学困難な学生を支援する制度の導入、卒業後のモデル像の明確化といった施策により、学生それぞれが明確な目標に向かい、学生生活の安心と充実、教育の成果が見込まれる。次年度へ向けての課題としては、今年度の結果に奢ることなく計画目標の達成に努力すること。時代の先を見据えながら

更なる教育環境の快適化と効率を推進していくことが重要である。行政と連携を図り、アート・カルチャーなどのプロジェクト参加を通して社会貢献、地域貢献の強化を推進。より社会貢献を強く意識出来るクリエイターの育成に努める。なお、学生ニーズ及びその時代に合わせたカリキュラム編成は、常に改善を図り、早めの対策を引き続き推し進めていくことが肝要である。

以上